

**ケースメソッドを活用した能力開発
(SPODフォーラム2016優秀ポスター賞受賞取組)****■講師**

上畠 洋佑（愛媛大学 教育・学生支援機構 教育企画室 特任助教）

平成 16 年 3 月広島大学文学部人文学科卒、平成 25 年 3 月東京大学大学院教育学研究科大学経営・政策コース修士課程修了。平成 27 年 4 月より金沢大学国際基幹教育院高等教育開発支援部門（旧：大学教育開発・支援センター）特任助教、平成 30 年 4 月から現職。IR やSDに関する人材育成を中心に高等教育に関する研究と実践を担当。

松村 典彦（金沢大学 スーパーグローバル大学企画・推進室 専門職員／

国際部留学企画課 留学推進係長）

平成 15 年 3 月金沢大学文学部史学科卒、平成 17 年 3 月金沢大学大学院文学研究科修士課程修了。平成 17 年 9 月九州大学大学院人文科学府中途退学。平成 17 年 10 月より金沢大学事務職員として、予算編成、文部科学省行政実務研修、事務局長秘書、研究支援、外部資金管理業務等に従事し、平成 27 年 4 月よりスーパーグローバル大学創成支援事業の総括管理を担当。また、平成 30 年 4 月より国際部留学企画課留学推進係長を併任。入職より自主的なSD活動を継続的に実施し、平成 28 年度より金沢大学においてケースメソッドを取り入れたSDプログラムを開発・実施。

■プログラム概要

金沢大学では、平成 28 年度から業務改善・改革プロジェクトとしてケースメソッド型SD研修を教職協働で開発し、新人・中堅・管理職クラスの大学職員を対象に実践を積み重ねてきました。この実践を振り返る中で、当該研修が大学職員の研修に有効に機能し、職階や、職務系統を超えた相互理解に資することが明らかとなり、この成果をSPODフォーラム2016において報告した結果、優秀ポスターを受賞しました。さらには「教育改善・大学の組織開発を支える研修人材育成拠点」として金沢大学が文部科学大臣から認定を受けており、その研修プログラムの一つとして全国の大学に提供されています。

本プログラムでは、ケースメソッドを知識として理解するのではなく、参加者がケースメソッド型ワークショップを実際に体験することを通して、今後SDを自大学等で企画・運営していく中で活用していくためのヒントやエッセンスを学習する機会として提供します。

■準備物や事前課題

あり（ケースを1～2週間前に事前配布して読んできていただきます。）

■主な受講対象

SDに関する企画運営業務を担う教職員

学内外の自主的なSDを企画運営する教職員

■本プログラムの到達目標

1. ケースメソッド型ワークショップの体験学習を通して、ケースメソッドがどのようなものか説明することができる。
2. 本プログラムで学習したことを用いて、自らが担当もしくは自発的に企画しているSDをより良いものにするためのヒントにすることができる。

■日時・場所

日時：平成30年8月31日（金）13：00～15：00

場所：香川大学幸町北キャンパス